



江戸時代（幕末）の学習（開国と武州一揆）

(1) 本時のねらい

「開国の影響により、百姓達の生活がどのように変化したのか？」「その結果どういう状況になっていったのか？」を様々な資料から、論理だてて江戸末期の農村の様子を理解する。私達の身近な地域で起こった一揆を取り上げることで、先人達の思いをダイレクトに感じ、また、一揆を起こさずにはいられなかった状況を先人達の立場にたって考える。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳶（どんび）坂」の映像を見て、1866年6月、この坂の上に400人もの百姓、坂の下に関東取締出役の役人が対峙していた事件があったことを知る。 ※ 『人々は何をしているのか？ どうしてこんなことになったのか？』自由に発言し、予想をたてる。 ・本時のテーマとキーワードを全員で読み、確認する。 ・本時のテーマに対し、各自予想をノートに書き、班で話し合いをし、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域でも一揆が起きていたことを知り、歴史を身近に感じさせる。 ・ここでは、答えを出さず、授業を進めていく。 ・この事件は、埼玉の百姓が起こした、武州一揆であることを知らせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【映像】鳶坂の様子 【地図】さいたま市
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>『なぜ人々は武州一揆を起こしたのか？ さいたま市の一揆の様子は？』 ~ 一揆の背景を考えよう！ ~</p> </div>				
展開	<ul style="list-style-type: none"> ※ 『百姓達の生活状況は？ どんな人々に怒りを感じていたのか？』 百姓の立場にたち、一揆を起こさずにはいられなかった生活状況を、資料をもとに考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>開港以降の異常な物価上昇 政治動向からくる人足役、諸役負担の増大 農民層の分化 村役人、豪農（地主、金融業）没落する多数農民</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ 『武州一揆はどんな一揆だったのか？』一揆の経過を映像を交えながらみていく。 1866年6/13 名栗 14 飯能、入間 17 与野 ・一揆の地図を見て、急速に広がっている理由を考える。 ・与野の打ちこわしの様子を見ていく。 『文書「木内五郎家文書」から読み取れることは？』 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を使って、教師の発問を中心に、各自でたてた予想を検証する授業を展開する。 ・筋道立てて当時の百姓達の様子を考えさせる。特に、多数を占めていた貧しい農民の生活が非常に苦しくなったことを感じさせる。 ・わずか7日間で202カ村、10万人もの参加者による、520軒の打ちこわしがあったことを伝える。 ・打ちこわされたのが物価高騰の元凶として、横浜開港場と 		<ul style="list-style-type: none"> 【資料】物価上昇など 【映像】飯能入間、一揆関連のもの 【資料】一揆の地図 木内五郎家文書

<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みながらわかったことを、各自ノートに書き、班でまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例 与野では一件の打ちこわし（穀屋「中村家」） 一揆の際の服装・道具 一揆のやり方、 一揆勢が要求したことなど</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初で示した、「鳶坂」付近の一揆勢の様子 の説明をうける。 → 一揆勢、ちりぢりに逃げる ※ 『一揆鎮圧後、どうなったのか?』『遊馬村 施金』 の資料から考える。 → 当時多数の貧窮人がいた。 豪農、穀屋達 が村内の貧窮人に手当金や米穀の安売りをした。 ・その後、民衆の中で「ええじゃないか」の乱舞が起 こったことを知り、その理由を考える。 ・本時の授業をうけ、『なぜ人々は武州一揆を起こし たのか? さいたま市の一揆の様子は?』というテ ーマに対する答えを自分の言葉でノートにまとめ、 発表する。 ・年表で時代背景をおさえ、江戸幕府が倒れ、明治の 世がくることを確認する。 	<p>結びついた豪商農が多かった ことを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書は、現代仮名遣いの読み やすいものを使う。 <p>様々な資料からの確な情報を探し出し、自分の言葉でまと めることができたか。</p> <p>(資料活用・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ええじゃないか」は、世直 しを求めた一揆、打ちこわしの エネルギーが屈曲した形である <p>【映像】 ええじ ゃない か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜開港による農村への影響 をおさえさせる。 <p>本時のテーマに対し、多角的 に考察し、自分の言葉でまと めることができる。</p> <p>(表現・思考)</p> <p>年表</p>
----------------------	--	---

資料

(3) 訪問先及び資料の入手先

さいたま市立博物館、埼玉県立博物館、人間市立博物館、飯能郷土博物館、
とんび坂 など

とんび坂の様子



この坂の上（奥）に一揆軍
下（手前）に関東取締出役
が対峙した。



一揆勢が
終結した
水判土観音

武州一揆の様子（人間、飯能）



入間の穀屋、金融業
を営んでいた下倉屋
の横浜支店

入間の店は打ちこわし

にあった



入間の打ちこわしの

柱の傷



飯能の一揆勢が集まった飯能河原



一揆勢が使った

といわれる木刀